

V グループホームしんあい(令和4年度事業報告)

1. 令和4年度経営方針

令和3年10月より、新ホーム「えみふる」を追加し、全9ホーム、定員49名となった。令和4年度については、定員増に伴う新体制から半年経過したことから、より安定的な事業経営を目指し、今後の事業展開や老朽化している各ホームの修繕計画を検討立案する年度とする。

その上で、利用者本位のサービスを実現するために、内部研修や会議等を充実させ、職員育成を図り、サービスの質の向上に繋げていきたい。

○ 共同生活援助事業(介護サービス包括型)

地域の中にある共同生活住居での生活を望む障害のある方に対し、主として夜間に、入浴、排泄、食事の支援や相談、日常生活上の必要な援助等を提供する。

2. 令和4年度取り組み

(1)利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 利用者のニーズに沿った個別支援計画の作成と実施 (ア) アセスメント、計画作成、モニタリングを画一的になることなく適切に実施する。 (イ) 新記録システム(ケアコラボ)を利用し1年経過したため、システムの活用方法を見直し、アセスメントを強化し、さらなる業務の効率化を図る。 (ウ) 各利用者の日中活動先への訪問を行う。	(ア) 昨年度よりサービス等利用計画のモニタリング時期と個別支援計画のモニタリング時期を合わせることにより、画一的にならない取り組みが実施できるようになった。 (イ) 記録システムにアセスメントした情報を落とし込んではあるが、まだ不十分な点があるので、次年度も引き続き行うこととする。 (ウ) 適宜、サービス管理責任者や担当職員が訪問を行った。
イ 虐待防止、権利擁護 (ア) 虐待防止、権利擁護に関する外部研修への参加や内部研修を実施する。 (イ) 利用者を対象とした虐待防止、権利擁護研修を実施する。 (ウ) 新規採用時に虐待防止・身体拘束等の適正化の研修を実施する。	(ア) 虐待防止・権利擁護の内部研修を3回実施した。 (イ) 実施することができなかったので、次年度の実施を検討する。 (ウ) 非常勤職員の新規採用時に動画や資料を用いて研修を実施した。
ウ 余暇支援の充実 (ア) ケース担当、サービス管理責任者による余暇支援に関するニーズを把握する。 (イ) ニーズ調査・整理を行い、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、その時にできることを検討しながら個別の余暇支援や集団で行う余暇支援を計画的に設	(ア) アセスメント、モニタリングや日常支援を通して把握するようにした。 (イ) 随時、事業所と連絡調整を行った。

<p>定する。</p> <p>(ウ) 移動支援事業所との連絡調整を行う。</p> <p>(エ) クラブ活動の在り方を見直し、新たな取り組みを行う。</p>	<p>(ウ) 随時、事業所と連絡調整を行った。</p> <p>(エ) クラブ活動を再編し、クラブのメンバーを固定し、ニーズに沿った余暇支援を提供したが、コロナのクラスターが発生したこともあり、十分な活動を行うことはできなかった。</p>
---	--

(2) 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 外部研修への参加</p> <p>(ア) 外部研修の内容を職員会議等で報告し、事業所全体の支援の質の向上を図る。</p> <p>(イ) 強度行動障害研修に参加する。</p> <p>(ウ) 視察研修を実施する。</p>	<p>(ア) 今年度も外部研修に参加する機会は少なかったが、Web での研修を職員会議時等に受講することで、全体で研修内容を共有した。</p> <p>(イ) 研修参加することができなかったため、次年度参加を予定する。</p> <p>(ウ) コロナの影響もあり実施は見合わせた。</p>
<p>イ 内部研修の実施</p> <p>(ア) 虐待防止、権利擁護研修を実施する。</p> <p>(イ) GSV※(グループスーパービジョン)を実施する。 ※GSV…対人援助職者(スーパーバイザー)が指導者(スーパーバイザー)から教育を受ける過程。指導者が援助者と定期的に面接を行い、継続的な訓練を通じて専門的スキルを向上させることを目的としている。</p> <p>(ウ) 非常勤職員が増えていることから、情報交換会を兼ねた研修会を実施する。</p>	<p>(ア) 3回実施。</p> <p>(イ) (ウ) ホームでのコロナ感染が年3回発生した関係もあり、計画的に実施することができなかった。しかし、非常勤職員対象の情報交換会や研修会の必要性があることは認識しているので、次年度実施できるように予定する。</p>

(3) 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 新賃貸物件探し・準備</p> <p>(ア) サテライト型住居の検討・物件探し</p> <p>(イ) どりーむ新賃貸物件探し</p> <p>(ウ) 新規賃貸物件探し</p>	<p>(ア) サテライト型住居の要件等を川越市にも確認し、検討した結果、今年度は見送ることにした。</p> <p>(イ) (ウ) コロナ感染状況や職員の配置状況も踏まえ、安定した事業運営を優先したため、新たな物件探し等は行わなかった。次年度以降検討したい。</p>

<p>イ 消防設備点検</p> <p>(ア) 消防設備点検の業者への委託。昨年度、見積合わせの結果、点検業者を変更した。今年度も再度見積もり合わせを行い、業者を選定する。</p> <p>(イ) 消防設備の自主点検を行う。</p>	<p>(ア) エムケー防災株式会社と契約した。年間313,500円。9月に総合点検を実施、3月に機器点検を実施した。</p> <p>(イ) 担当職員が随時行った。</p>
---	---

(4) 危機管理

<p>◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>ア 防犯・防災対策</p> <p>(ア) 消防計画を基に消火訓練、夜間想定避難訓練、通報訓練を実施する。</p> <p>(イ) 夜間の防犯・防災対策として警備会社と契約し、緊急時に対応できる体制を整える。</p>	<p>(ア) えみふる9月19日、3月11日の2回、サンハイム9月10日、3月12日の2回、実施した。</p> <p>(イ) 前年度に引き続き、セコムと契約し、最低限緊急時に対応できる体制を整えている。</p>
<p>イ 業務継続計画(BCP)の策定</p> <p>令和3年度報酬改定に伴い、感染症や災害時の業務継続計画(BCP)の策定が義務化(令和5年度末まで)されたため、策定準備を進める。</p>	<p>法人分科会のメンバー中心に感染症対応の業務継続計画(BCP)を策定した。</p>
<p>ウ 安全運転管理</p> <p>(ア) 年式が古い車両について、計画的に更新を検討する。その際には、リース車両を検討する。</p> <p>(イ) ドライブレコーダーの映像を定期的に確認し、事故報告書やひやりはっと報告の検証を行う。</p>	<p>(ア) 1台リース車両を検討したが、希望する時期に希望者車種がなかったため、今年度は見送った。</p> <p>(イ) 年間事故件数3件。事故の際には、ドライブレコーダーの映像を本人と確認し検証を行った。</p>

(5) その他

<p>◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>ア 地域との共生</p> <p>地域における公益的な取り組みとしてホーム周辺の夜回り活動を行う</p>	<p>年間3回(10/20、12/25、2/19)行った。基本的に職員1名利用者2名程度で夜間ホーム周辺を歩いて実施することができた。</p>
<p>イ 情報発信</p> <p>外部に対してグループホームを理解してもらうため、利用希望者向け、職員採用向けに分けてパンフレット及び紹介動画を作成する。</p>	<p>利用希望者向け、見学者等向けのパンフレットを作成し活用した。職員採用については、職員数が充足していたため、今年度は積極的に行わなかった。</p>

■ グループホームしんあい(令和4年度事業報告 資料)

令和5年3月31日現在

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	全9ホーム		
	男	女	計
区分6	7	1	8
区分5	9	6	15
区分4	5	3	8
区分3	10	1	11
区分2	4	1	5
区分1	0	0	0
非該当	0	0	0
合計	35	12	47

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未 満	20歳以 上～30 歳未満	30歳以 上～40 歳未満	40歳以 上～50 歳未満	50歳以 上～60 歳未満	60歳以 上	平均 (歳)
		全9ホーム	男	2	2	5	5	7
女	0		1	0	1	5	5	56.8
計	2		3	5	6	12	19	53.3

(3)通院・入院状況(回)

区分	科目	精神 科	内科	外科	眼科	耳 鼻 科	皮膚 科	整形 外科	婦人 科	歯科	その 他	計
	通院		116	116	7	47	30	51	32	2	69	57
入院	件	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
	日	0	0	0	0	0	0	87	0	0	8	95

(4)日中活動・就労状況(名)

区分 ホーム	ワークス しんあい	親愛センタ ー通所部	親 愛 南の里	法人外事 業所	一般就労	その他	計
全ホーム	16	11	2	10	8	0	47

2 事業所状況

(1) 各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
共同生活援助	49	46.2	94.2